

西日本インカレ（合同研究会）2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）		
フリガナ) キュウシュウコクサイダイガク	フリガナ) コクサイカンケイガクブ	フリガナ) フクシマゼミナール
九州国際大学	国際関係学部	福島ゼミナール

※大会申込書時に記入したチーム名から変更することはできません。

※パワーポイント内に動画をを使用している場合は「有・無」を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	パワーポイント内の 動画使用（有・無）
フリガナ) チーム・タキシマ	フリガナ) ナカザ クリストファ コウキ	5	有
TEAM・タキシマ	仲座クリストファ光樹		

研究テーマ（発表タイトル）

車いすの新郎向け婚礼企画「タキシマ・ウエディング」

※必ず「企画シート作成上の注意」を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

私たちのゼミでは「共生社会の実現」を理念に掲げ活動を行っているが、障害者理解を深めるためには障害者のためのモノづくりが有益だと考え、「車いすの新郎のための婚礼企画～タキシマ・ウエディング～」プロジェクトを立ち上げた。車いす利用者が不便と感じる婚礼衣装のデザインを見直し、儀式や演出を行う際の障壁を解消することで結婚式に抱く諦念を払拭し、車いすの新郎が健常者と同じように結婚式を挙げられるようにすることが狙いである。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

2015年の婚姻件数は63万5156組（厚労省調べ）とされているが、障害者のみの婚姻組数を示した公的データは見当たらない。一方、全国主要都市のホテル100社に、新郎が車いす利用者の結婚披露宴会件数について電話調査を行ったがほとんどのホテルで過去数年のうちに数件か、もしくは受注実績がないとの回答だった。これらのことから車いす利用者が結婚披露宴を実施することは非常に少ないと推測される。また、メディアにおいても障がい者の婚礼事情を正確に把握している結婚情報誌（ゼクシィ等）は無かった。背景には、現在の婚礼衣装や披露宴の演出などが障壁となっているため結婚披露宴の実施自体をあきらめているか、もしくは結婚式自体に否定的な考えをもつ車いす利用者もいるのではないかと考えられる。

3. 研究テーマの課題

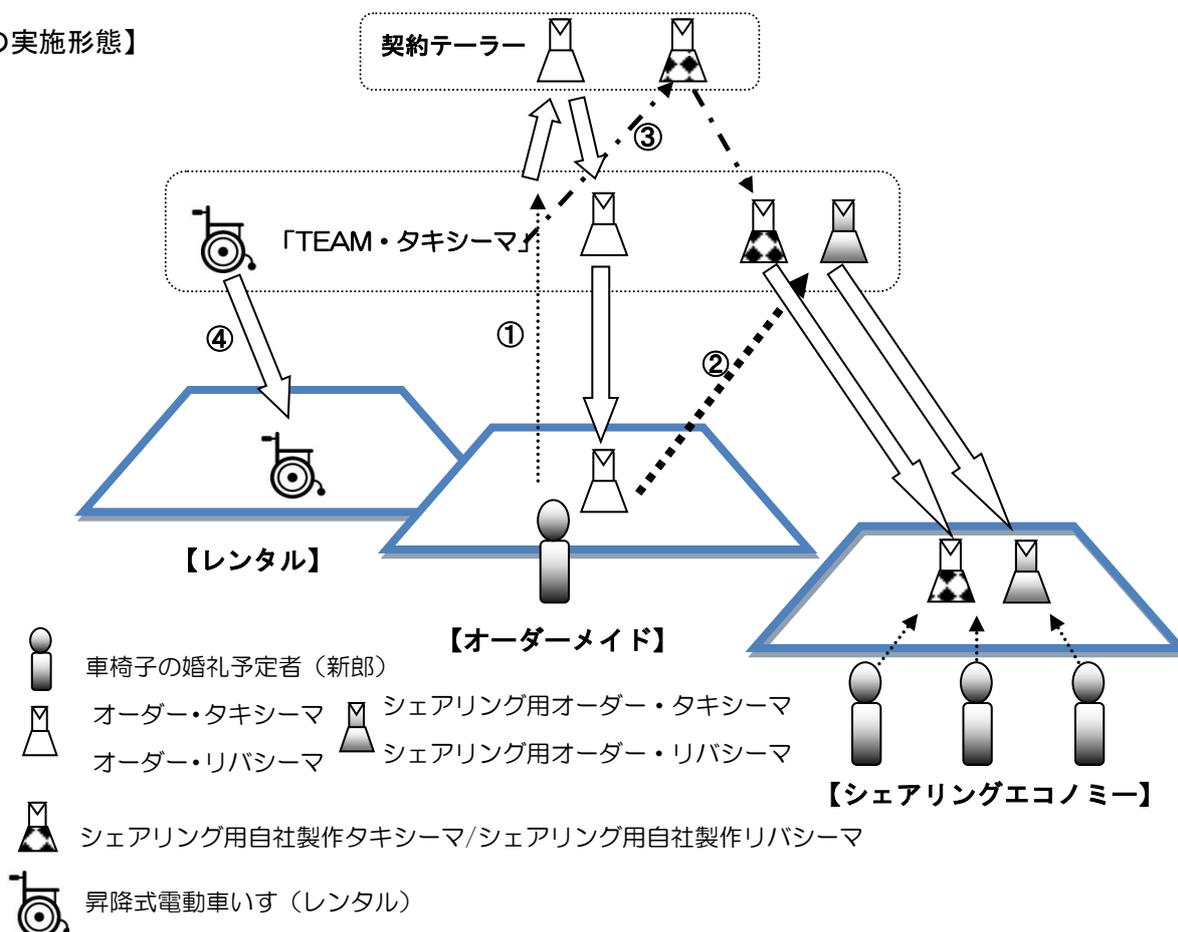
背景から見える課題として、車いす利用者が挙式できる環境が整えられていないことがあげられる。結婚披露宴で求められるのは、施設面でのバリアフリーや人的サポートによる介助だけではない。長時間着用していると腹部に圧迫感を感じたり着くずれを起こしたりする婚礼衣装や着替えに時間がかかるお色直し衣装、そして、ベールアップやケーキ入刀といった車いすの新郎には不向きな儀式や演出などがあげられる。

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

車いすの新郎の婚礼衣装問題については、長時間着用しても着くずれせずスタイリッシュに着こなせる婚礼衣装「タキシーマ」と車いすに座ったままで素早く着替えができるお色直し衣装「リバシーマ」を開発、制作した。婚礼衣装「タキシーマ」は、上着の丈を短くすることで車いす上でのもたつきを解消し、袖ぐりを広くとることで上腕部が発達しているアスリートでも着用できるようにした。また、パンツを袴の形状にすることで足の形をわかりにくくするとともに、両脇を全開できる構造とすることで座ったままでもお色直しができるよう工夫を施した。これらの工夫点については実用新案を取得している。一方、お色直し衣装「リバシーマ」はひざ下の生地が取り外しできるため着脱が容易にできる。さらに、新郎新婦が目線を合わせてバージンロードを歩いたり、ベールアップができるよう小回りの利いた昇降式電動車いす「タキシーマ・ペガサス」を制作、購入した。購入資金は日本最大級のクラウドファンディング「READY FOR?」を活用し、218万7000円を調達した。これらを市場に普及させるため、障害の種類や程度にあわせて新郎向け婚礼衣装をオーダーで受注販売する「オーダー」業務、婚礼用の昇降式電動車いすの「レンタル」、そして、オーダーで制作してもらった婚礼衣装を新郎から借り受け、より多くの障がい者が利用できるよう安価で提供する「シェアリング」を展開する。①車いすの新郎より婚礼衣装「タキシーマ」「リバシーマ」を受注し、提携テラー（福岡市・北九州市）が製作し「オーダー・タキシーマ」「オーダー・リバシーマ」として顧客に納品する。②使用後は「TEAM・タキシーマ」が婚礼衣装を借り受けシェアリング衣装として市場に提供していく。③一方、コストを抑えた「タキシーマ・シェアリング」「リバシーマ・シェアリング」もシェアリング用として「TEAM・タキシーマ」が制作し市場に投入する。④昇降式電動車いす「タキシーマ・ペガサス」は低価格（送料・保険料別）でレンタルを行う。



【事業の実施形態】

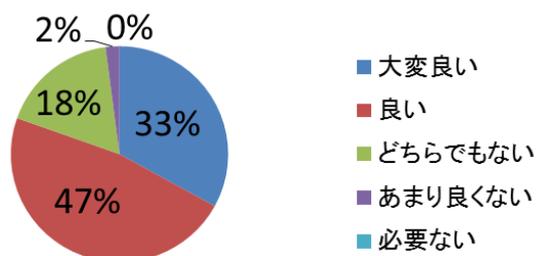


「タキシーマ・ウエディング」のビジネスモデル

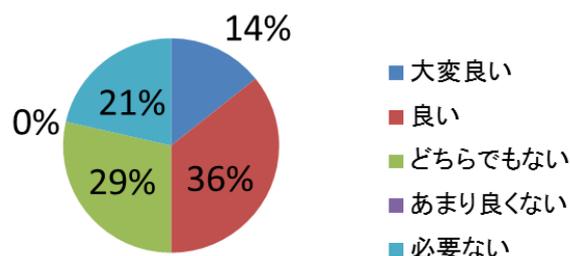
5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

婚礼衣装「タキシーマ」は2015年8月に服飾専門学校「香蘭ファッションデザイン専門学校」（福岡市）と共同で製作し、2016年3月には実用新案を取得した。2016年2月には商品開発と並行して20代～40代の男性の車いす利用者男性52名を対象に婚礼衣装「タキシーマ」と昇降式電動車椅子「タキシーマ・ペガサス」に関するアンケートを実施した。婚礼衣装については着易さを重視した点が高く評価され、79.6%が「タキシーマ」に対して「大変よい」「良い」と回答した。一方、昇降式電動車いすについては、製品が完成する前の調査だったにもかかわらず50%が座面が上がることを「大変よい」「良い」と回答しており、多くの車いす利用者が、健常の新婦と視線を合わせることを望んでいることが明らかになった。

「タキシーマ」のデザインについて



車いすの座面上昇について



6. 結果や今後の取り組み

事業計画の立案段階では、実際にこの事業が実現可能なのか、昇降式電動車いすを購入できるのかといった不安があった。しかし、衣装や昇降式電動車いすの製作をこなしていくごとに、多数の方々からご理解、ご支援をいただき徐々に不安は払拭されてきた。また、プロジェクトの推進に伴い、様々な企業と事業を共同で進めていくことになりプロジェクト自体が、次第に大きく成長していることを実感している。現在は、車いす利用者が健常者視線の結婚式を模擬体験できるよう、話題のVRカメラを使ってVRプロモーションビデオを制作し、ヒルトン福岡シーホーク（福岡市）と車いすの新郎向け婚礼企画「タキシーマ・ウエディング」によるブライダルフェアを企画中である。このフェアを足掛かりに、全国に31万7000人いるという車いす利用者の中から挙式者を探しだし、「タキシーマ・ウエディング」が車いす利用者の婚礼のスタンダードとなることを目指したい。

7. 参考文献

- ・厚生労働省 平成27年（2015）人口動態統計（確定数）の概況 アクセス日 2016.10.12
<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/jinkou/kakutei15/index.html>
- ・平成28年版 障害者白書（全体版） アクセス日 2016.10.11
<http://www8.cao.go.jp/shougai/whitepaper/h28shakusho/zenbun/index-pdf.html>
- ・業界動向リサーチ・コム アクセス日 2016.10.11
<http://gyokai-search.com/3-bridal.html>
- ・ブライダル総研 総研リサーチニュース アクセス日 2016.10.11
http://bridal-souken.net/research_news/2013/10/2013-74b9.html